

平成26年
12月14日執行

衆議院小選挙区選出議員選挙選挙公報

栃木県第3区

栃木県選挙管理委員会



無所属
わたなべ
渡辺よしき

昭和二十七年三月十七日生(六十二歳)

ブレない 曲げない 崩れない

みんなの党を応援して下さった皆様には大変申し訳のない結果となりました。心からお詫び申し上げます。

初心に立ち返り、裸一貫無所属で立候補いたしました。党は消えても、よしみは消えず、「派閥の前に党があり、党の前に国家国民がある」というミッチー語録を胸に行動して参ります。不器用な男ですが、ブレない信念は失っておりません。私に今一度チャンスを与えてください。どうぞよろしくお願いたします。

増税の前にやるべきことがある!!

ナベノミクスで日本を成長国家に

信念を貫き、再出発

1. デフレ脱却

大胆な金融緩和(物価安定目標)でデフレ脱却するには2年かかります。物価が2%以上になると失業率は約1%低下し、給料が3~4%上がるというのが成功シナリオです。その間、消費増税はやってはいけません。日本銀行の追加金融緩和は私が昨年から主張してまいりました。タイミングは遅れましたが、規模はOKです。

2. 増税ではなく減税

私達が猛反対した消費増税をやった結果、景気は悪化しました。2回目の増税先送りは当然の帰結です。私達の主張が正しかったことが証明されました。景気回復のためには10兆円程度の財政支出が必要で、中身は減税や給付金で行う方が有効な需要をすぐに作りやすいです。消費減税がベストですが、政治的に困難であれば所得税・法人税・相続税・贈与税の減税、それに定額給付金を加えれば低所得者対策にもなります。

3. 成長戦略で経済復活

名目4%以上の成長を達成し、10年で所得・年金の水準を1.5倍にし、プライマリバランスを黒字化します。大胆な規制改革を断行し、民間投資を増大させます。例えば、電力自由化・発送電分離(原発は市場淘汰、減反廃止と直接支払の充実・農協改革、自ら選べる雇用形態・同一労働同一賃金の確立)。

4. 身を切る改革

国会議員の定数大幅削減(衆議院300人参議院100人)をします。まずは、比例区の削減から始めます。同時に地域主権型道州制に向けて権限・財源・人間の「3ゲン」委譲を行っていきます。国保有の資産の売却(300兆円)を進めスリムな政府を作ります。歳入庁の創設により、税と保険料の一体化徴収をはかります。

5. お宝発掘で地元活性化

自然豊かな栃木県北部は再生エネルギー資源の宝庫です。山の木からは木質バイオマス発電、家畜の糞尿を利用したバイオガス発電、発電熱をハウスや家庭に供給するコージェネを同時に小水力発電に転換が可能です。先人達が築いた農業用水路で小水力発電は更に増設が可能です。現在埋もれてしまっている酪農・農林業の資源を再生エネルギーに活用し、地域の産業として育ててゆきます。

暴走政治ストップ! 政治を変える



あきやま
日本共産党 秋山ゆきこ

1951年4月14日生(63歳)

消費税増税、集団的自衛権、原発再稼働——民意を無視し暴走を続ける安倍政権に怒りと批判が大きく広がっています。あなたの一票で暴走をストップさせ政治を変えるときです。日本共産党をのせば政治は動きまわります。「政治を変えたい」との思いを、日本共産党と私、秋山ゆきこに託してください。

日本の政治の『50%の転換』を

「消費税に頼らない別の道を提案します」

「格差拡大」の暴走ストップ

「戦争する国」づくり許さない

「原発ゼロ」の日本へ

「新基地建設は中止を」

未来に責任を負う政党、それが日本共産党です

比例代表は
日本共産党と
お書きください

「先送り」でなく **消費税10%はキッ中止に** あなたの一票を **秋山ゆきこ** と **日本共産党**へ

35才
「若さ」と「情熱」



「地元密着・現場主義」



自由民主党
やな 和生

昭和五十四年四月二十一日生(三十五才)

「地元密着・現場主義」を政治信条とし、始発の新幹線で国会に通う毎日を重ねて参りました。栃木三区にできた国とのパイプを守り、より強固なものにして、皆様方の声をこれからも国政に反映させて参ります。

- 経済再生 財政再建**
 - アベノミクスを地方に波及させ、地方経済再生と財政再建を成し遂げます。
 - 雇用や賃金の増加を伴う経済の好循環のさらなる拡大を図ります。
- 商工観光業 少子化対策 地方創生**
 - 地域経済を支える中小企業・小規模事業者へのきめ細かい支援を行います。
 - 地元の豊富な観光資源の大々的なPRと地域間連携により、誘客増を図ります。
 - 人口減少の克服に向け、企業の地方移転等を通じた雇用の創出、子ども・子育て支援の充実・強化を図ります。
- 安全安心 教育再生**
 - 防災減災のための公共事業の促進、安定した社会保障制度の構築により、未来の安心を約束します。
 - 将来を担う子どもたちの教育環境の充実を図り、基礎学力の向上、日本人としての誇り、道徳や規範意識の回復を進めます。
- 農林業**
 - 現場の声と、地域特性を反映した一貫性のある農政を確立し、将来に夢や希望を持てる農業を実現します。
 - 米価の下落により窮地に立たされている農家の代弁者として、国に支援を強力に要請します。
 - 伐採・再造林における適正な利潤の確保を通じ、森林整備の促進を図ります。
- 外交 安全保障**
 - 安全保障法制の整備を進め、我が国の領土・領海・領空を断固として守ります。
 - 虚偽に基づきいわれなき非難等に対し断固として反論し、日本の名誉と国益の回復を図ります。

やな 和生プロフィール

- ◆生年月日 昭和54年4月22日
- ◆略歴 慶應義塾大学卒業
東京大学大学院修了
衆議院議員岡部英明 秘書
㈱日本経済研究所 研究員
衆議院議員
農林水産委員会 委員
自民党国土交通副部長
- ◆座右の銘 初心忘るべからず

やな和生選挙事務所
〒324-0047 大田原市美原3丁目3365-15
TEL.0287-48-7213 FAX.0287-23-5168